

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	1
事業名	ごみ減量・資源化事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	1	持続可能な循環型社会の創造
目的	資源の分別を徹底することにより、循環型社会の構築を図る。 焼却ごみの減量		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ減量・資源化施策の企画・立案 ・ 資源リサイクルセンターの管理運営 ・ 有機資源保管場所の管理運営 ・ 生ゴミ堆肥化事業 		
現在における 経過又は課題	<p>平成23年11月に大規模小売店舗がオープンしたことにより、事業系可燃ごみの増加が懸念される。また、実際にどの程度事業系可燃ゴミが増加するか現在把握ができていない。</p> <p>家庭系のごみについても、減量が頭打ちになりつつある。</p>		
平成24年度の 目標又は 改善策	<p>事業系ごみについては、平成23年11月から平成24年3月までの実績から事業系可燃ごみの量を推計し、平成24年5月末までに可燃ゴミ減量の推計の見直しを行い、目標値とのかい離を把握する。かい離分については、地域外での生ゴミ堆肥化等で減量が進められるよう協議をしていく。</p> <p>家庭系のごみの減量については、出前講座を利用し各地区へ現在のごみの状況を説明するとともに、地区で取り組むことができる減量施策について、意見を交換し取り組める地域から取り組みを始めていく。</p> <p>資源リサイクルセンターについては、2階会議室を利用した環境教育が実施できるよう町内小中学校あるいは各種団体に働き掛けていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	廃棄物減量等推進員分別説明会開催 大規模小売店舗からごみ減量計画書提出 必要に応じヒヤリング実施 平成24年度一般廃棄物処理計画の告示 資源物等収集委託契約の締結 各月廃棄物収集量の把握
5	大規模小売店舗について、地域外での生ゴミ堆肥化の協議（7月まで）
5	区長会で「ごみ減量出前講座」を依頼 6月から8月の間ですべての地区へ講座に出かける。
6	出前講座の開催により、取り組める地域からごみ減量の取り組みを行う。 予算等が必要となる取り組みについては、9月議会における補正予算で対応
9	6月から8月で実施する地区対象の出前講座実施を受け、取り組みが難しいと考えられる地区について、再度小字単位などもう少し小さな単位あるいは地域内の団体を対象とした「出前講座」を開催
1	平成25年度一般廃棄物処理計画（案）作成
3	平成25年度各種委託契約の準備

□3年間の目標

項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標
目標	・	・				

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・
H26 年度	・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	79,997	91,153	79,791
(内特定財源)		千円	15,750	8,705	8,700
人工	職員	人工	1.5	2.0	1.5
	臨時職員	人工	3.5	3.0	3.0
	計	人工	5.0	5.0	4.5

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	3	
粗大ごみ処理手数料	1,450	粗大ゴミ 1点 1,000円
環境事業指定寄附金	150	レジ袋有料化に伴う指定寄付
資源ごみ等売払収入	7,097	
合計	8,700	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	4-2-2-13-14	1,428	△709	生ごみ収集委託(派遣)3年経過により一部直接雇用へ
	4-2-2-8-2	5,579	△921	スタンプカード制度の見直し

■特記事項

平成23年度「ごみ減量」をテーマとした地域懇談会を開催した結果、本町の焼却ごみ減量のテーマである「焼却ごみの問題を河北地区としての問題ではなく、まちの問題としてとられていく。」ためには、地域にでかけ、一人でも多くの住民と、このごみ問題を自分たちの問題として協議していくことが必要と感じたことから、平成24年度1年間とにかく多くの地域に出かけ、住民の皆さんと話をすることでごみ減量への取り組みを進めていくこととする。

■目標又は改善策に対する取組内容

平成24年6月23日から8月26日までの間に、11行政区のすべてで「焼却ごみ減量意見交換会」を実施し、387名の町民の皆さんと意見交換を実施。その結果、豊田区、大屋敷区において、資源ごみ回収における雑がみの回収回数を増やすことにより、可燃ごみから雑がみを取り除く活動が開始。あわせて、意見交換会で最も指摘が多かったごみ減量に向けての意識啓発については、意見交換後広報、ホームページ等により住民周知を図った。

大規模小売店舗について地域外での生ゴミ堆肥化の取組みについては、主な町内事業所に出向くなどして民間堆肥化施設利用の促進を図った。

取組みが難しいと考えられる地区について、再度小字単位などもう少し小さな単位あるいは地域内の団体を対象とした「出前講座」を開催する予定であったが、新たな取組みまでには至らなかった。

■評価

意見交換会についてはごみの現状や減量のPR、一部地区における回欄板による周知や月2回の雑紙回収の取組みが始まったが、新たな堆肥化等までの取組みまでには至らなかった。

大規模小売店舗について地域外での生ゴミ堆肥化の取組みについては、主な町内事業所に出向くなどして民間堆肥化施設利用の促進等により意識の醸成は図れたが実現には至らなかった。

江南丹羽環境管理組合への搬入状況については、家庭系前年比99.92%(-2.5トン)、事業系前年比98.63%(-29.3トン)、合計で前年比99.41%(-31.8トン)と減少した。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	2
事業名	環境共生事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	春夏秋冬、五条川のせせらぎが心を潤してくれる、ふれあいの遊歩道となるよう尾北自然歩道の管理を実施するとともに、五条川堤の桜の保全を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい池の管理・運営委託 ・ 五条川堤桜の維持・管理 ・ 尾北自然歩道維持・管理 ・ 桜まつり関係業務 		
現在における 経過又は課題	五条川堤の桜も老朽化してきており、延命を含めた処置が課題となっている。		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	桜消毒の薬効期間が想定よりも長いことが平成 23 年度確認されたため、従来年 3 回実施してきた桜の消毒を年 2 回実施とする。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	桜まつり
5	桜消毒
8	桜消毒
通年	桜枯れ枝伐採
	尾北自然歩道管理
	ふれあい池管理

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	19,667	22,688	21,625
(内特定財源)		千円	1,005	1,100	2,045
人工	職員	人工	1.0	0.7	0.7
	臨時職員	人工	0.2		
	計	人工	1.2	0.7	0.7

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
ふるさとづくり基金繰入金	2,045	五条川桜保存協働委託事業に充当
合計	2,045	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	7-1-2-13-11-2	1,964	△766	桜の消毒年3回を2回に変更
	7-1-2-13-4	2,045	945	町制50周年を契機に桜保存勉強会の開催を協働委託し、町内桜保存に係わる人材の育成を図る。

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

桜の保存活動を行う団体を組織するため、わくわくおおぐち21との協働により、五条川桜保存プロジェクト事業として、桜講習会を4回開催した。

■評価

①桜の保存活動を行う団体の根幹ができつつある状況である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	3
事業名	環境保全対策事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	町内環境の維持、向上を図るため水質・大気をはじめとした環境衛生の向上を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病予防業務 ・ 公害対策業務 ・ 環境保全・対策関係補助金交付業務 ・ 愛北広域事務組合（火葬場）関係業務 		
現在における 経過又は課題	遊休地等の雑草・害虫の苦情が多く寄せられている。		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	平成 23 年度に引き続き、雑草などの苦情が多く寄せられる夏前に広報するとともに、枯草について丹羽消防署と連携を取り適切な管理を指導していく。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	狂犬病予防注射（集合注射）
5	町内ごみゼロ運動
6	町内水質検査
7	五条川自然塾
8	町内大気測定
12	町内水質検査
2	町内大気測定
3	五条川・合瀬川・矢戸川クリーンアップ活動
通年	公害苦情などの処理 狂犬病予防事務

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	25,661	32,701	27,436
(内特定財源)		千円	2,012	2,374	2,944
人工	職員	人工	1.0	1.2	1.2
	臨時職員	人工	0.1		0.3
	計	人工	1.1	1.2	1.5

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
犬登録管理手数料	1,047	新規登録 3,000 円 注射済み 550 円
合併浄化槽補助金(県)	82	
太陽光発電補助金	840	5,000 円/kw(県予算の範囲内)
合併浄化槽補助金(国)	137	
太陽光電力売り払い	48	
ふるさとづくり基金繰入金	790	五条川自然塾協働委託事業に充当
合計	2,944	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ① 雑草処理等による土地の管理について、丹羽消防署と連携し指導を実施。また、処理した雑草が野焼きされることのないよう、有機資源保管場所での受け入れを案内。
- ② ごみゼロ・五条川クリーンアップについては広報等により住民周知を図った。

■ 評価

- ① 野焼きの苦情は減少した。
- ② ごみゼロ参加者は前年度比 2.5 割増、五条川クリーンアップ参加者は前年度比 1.5 割増。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	4
事業名	廃棄物処分事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	1	持続可能な循環型社会の創造
目的	廃棄物を適正処理することにより、町内環境の向上を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 不法投棄防止業務・ 可燃ゴミ処理委託業務・ 埋立てゴミ処理委託業務・ 生ゴミ堆肥化事業・ 新ゴミ処理施設建設関係業務・ 江南丹羽環境管理組合関係業務・・		
現在における 経過又は課題	テレビの地上デジタル化等に伴い、家電製品の不法投棄が多くなってきている。		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	不法投棄の続く場所に不法投棄防止看板の設置、周辺の清掃など不法投棄されにくい環境とするよう土地所有者等を指導する。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 通 年	可燃ゴミ・埋め立てゴミ収集運搬・処理委託契約事務 新ゴミ処理施設建設関係業務 不法投棄防止業務

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	206,383	221,510	167,853
(内特定財源)		千円	19,067	18,864	18,809
人工	職員	人工	2.5	2.5	2.0
	臨時職員	人工			0.7
	計	人工	2.5	2.5	2.7

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
一般廃棄物処理業許可	5	
可燃ゴミ処理手数料	9,200	大袋 14 円 小袋 7 円 減量型 5 円
江南丹羽環境負担金	4,854	固定資産税相当分(土地のみ・建物償却資産は含まず)
可燃ゴミ収集袋売払い(事業系)	4,750	大袋 13 円 小袋 10 円
合計	18,809	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	4-2-1-13-11	30,408	△4,080	2年間にわたる工事が終了したことにより小牧市へのごみ搬入の必要がなくなったため

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

不法投棄が続く場所への看板設置を行うとともに、投棄した者の特定に努め、江南警察署と連携し不法投棄の防止に努めました。

■ 評価

不法投棄については本年度 35 件と、前年度 71 件から半減した。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	5
事業名	し尿処理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	1	持続可能な循環型社会の創造
目的	浄化槽等の適切な維持管理を啓発することにより、町内環境の向上を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・し尿汲み取り助成金事業・愛北広域事務組合関係業務・し尿汲み取り委託業務・浄化槽清掃業許可業務		
現在における 経過又は課題	浄化槽の管理が適切に行われていないことを原因とする悪臭の発生		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	浄化槽の適切な維持管理を啓発していく。		

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
各 月	し尿汲取助成金の交付関係事務 愛北クリーンセンター搬入計画の策定

□3年間の目標

目 標	・ ・					
項 目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	38,206	37,930	34,623
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.5	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.1		
	計	人工	0.6	0.6	0.6

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	4-2-3-19	32,712	△3,150	愛北広域事務組合負担金

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

浄化槽の適切な維持管理を周知するため、町のカレンダーや広報おおぐち10月号等に記事を掲載し、浄化槽の適切な維持管理が行われるよう努めた。

■評価

特に苦情もなく、浄化槽の適切な維持管理が行われたものと思われる。